

施工説明書別添付

保管用

屋内専用

P 1 5 0 シリーズ
P 型 1 級火災受信機

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

正しくお使いいただくため、この説明書は大切に保管してください。

壁掛型 品番：NBP151AEA□□（□□は回線数）

自立型 品番：NBP151BEA□□（□□は回線数）



NDC 日本ドライケミカル株式会社

はじめに

- このたびは、日本ドライケミカル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

取り扱いについてのご注意

- 平常時には次のことを守ってください。受信機の取り扱いを誤ると火災時に正しく動作せず、避難や消火活動が大幅に遅れるおそれがあります。
- ベル(地区音響)一時停止スイッチを押さない。
- 受信機を地区音響強制停止・音響強制停止状態にしない。
- 電源スイッチや電池を切らない。
- 正常な監視状態にあるか確認する。(「平常時の受信機の状態」(9 ページ)を参照)
- 警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合

- 119 番などに通報する。
- 避難誘導および、可能であれば初期消火をする。

火災でない場合

- 発生原因がわかれば取り除く。
- 発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

受信機の扉を開けるときのご注意

90° 以上、扉を開けると扉の変形や他の物品を破損するおそれがあるので注意してください。

ご使用前に

- この設備は、火災感知器などからの信号を受けて火災の発生を検知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
- この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検を行ってください。(定期点検は、施主様と施工店または点検契約店でご契約ください。)
- 本受信機の運用にあたっては、必ず現在の日付と時刻を設定してください。設定しないと、正しい発報／操作履歴データを記憶できません。
設定方法については「現在時刻を設定する方法」(29 ページ)を参照してください。



この設備をご使用になる皆様へ

全上のご注意

この設備を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
 分解禁止	 必ず守る
 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (上図の場合は分解禁止が描かれています。)  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。	

警告



禁止

取り扱い管理される方へ

- 保守・点検以外で、ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。
火災時にすぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。
（ベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと、スイッチ内のランプ、スイッチ注意灯は点滅します。）
- 防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。
感電・故障の原因となります。
- ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。
感電・故障の原因となります。
- 感知器は絶対に取りはずさない。
出火時に火災発見ができません。
- 点検用スイッチカバー内にあるスイッチは操作しない。
（点検資格者、消防設備士が操作するところです。）



分解禁止

- 機器を分解したり、修理・改造はしない。
感電・故障の原因となります。



禁止

点検・施工される方へ

- 保守・点検以外で、受信機音響強制停止状態および、地区音響強制停止状態にしない。
火災時に警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。
（強制停止状態にすると、スイッチ注意灯・音響強制停止灯・地区音響強制停止灯が点滅します。）
- ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。
感電・故障の原因となります。
- 感知器は絶対に取りはずさない。
出火時に火災発見ができません。
- 電池は火に投入したり、ショートさせない。
爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。



必ず守る

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備（ガス系消火設備など）の内容を十分確認して操作する。
不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 電池は必ず接続する。
電池を接続していないと停電時に機能しません。
- 試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。
戻さないと火災時、正常な火災警報動作をしません。



分解禁止

- 機器を分解したり、修理・改造はしない。
感電・故障の原因となります。

⚠ 注意



必ず守る

取り扱い管理される方へ

- 受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認する。
正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。
- 点検用スイッチカバーは必ず閉じる。
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。



必ず守る

点検・施工される方へ

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作する。
不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

《予備電源（ニカド電池）取り扱い上のご注意》

⚠ 注意



禁止

- 電池は絶対に分解しない。
電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。
- 交換した電池は、火中に投入しない。
電池が破裂する場合があります、危険です。電池はリサイクルに協力してください。



必ず守る

- コネクタは極性を守って正しく差し込む。
逆に差し込むと電池のふくれや破裂の危険性があります。

定期点検について

防災設備は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。
施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

点検は法律で義務づけられています



消防関係法令では、防火対象物の関係者（建物の所有者、管理者または占有者）は定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

■消防法施行規則第31条の6

- 点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内に、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
- 点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

■点 検

対象の設備	点検の内容および方法	点検の期間
自動火災 報知設備	機 器 点 検	6ヶ月に1回
	総 合 点 検	1年に1回
配 線	総 合 点 検	1年に1回

■報 告

特定防火対象物の場合	1年に1回
特定防火対象物以外の場合	3年に1回

点検には資格が必要です



定期点検は、国が定めた資格者（消防設備点検資格者または消防設備士）が行うよう、法令で定められています。

■消防法第17条の3の3

- 消防用設備の点検は、消防設備士または総務省令で定める資格者に行わせなければならない。

「専門知識を有する会社」と点検契約をおすすめします



日本ドライケミカル製品取扱店と「点検契約」を結びますと、専門の知識・技術を持つ有資格者が定期的に訪問し、責任を持って防災設備の点検をいたします。
防災設備の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。

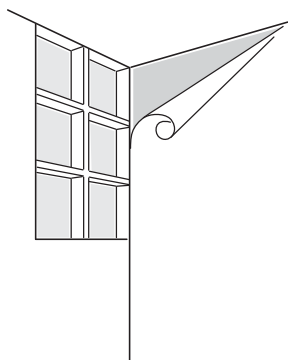


ennaときは

- 下記のような場合、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

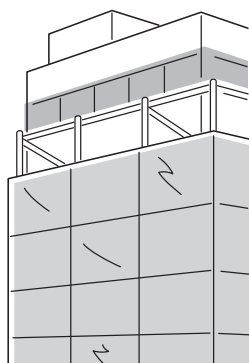
増改築

- 増築や改装をしたとき



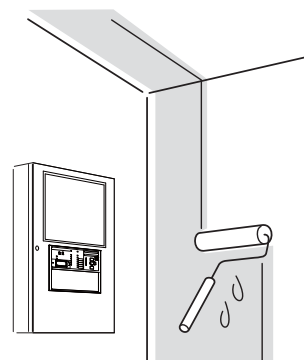
修繕

- 建物を修繕したとき



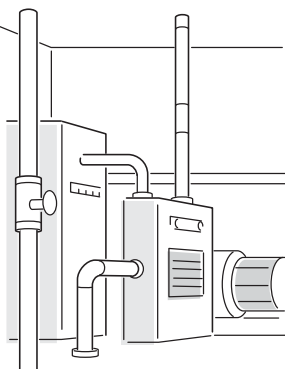
塗りかえ

- 天井や壁を塗りかえたとき



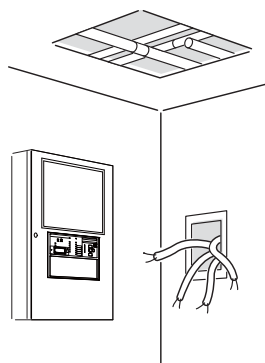
設備工事

- 設備の工事をしたとき



電気・ガス・水道工事

- 電気・ガス・水道工事をしたとき



天災被害

- 台風・雷・地震などの被害を受けたとき



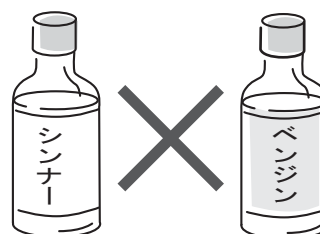
お手入れ方法

- 表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。

- ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。



ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。





Memo



Handwriting practice area with 20 sets of horizontal lines. Each set consists of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

1.各部のなまえとはたらき	9～10
2.受信機が警報した場合	11～14
●火災の場合	11
●音声警報スピーカーについて	11
●火災でない場合	12
●ベル（地区音響）一時停止動作について	13
●ベル（地区音響）拡大警報動作について	13
●付属設備の作動について	14
●機器作動時の対処方法	14
3.日常点検	15
4.異常時の点検・処置	16～17



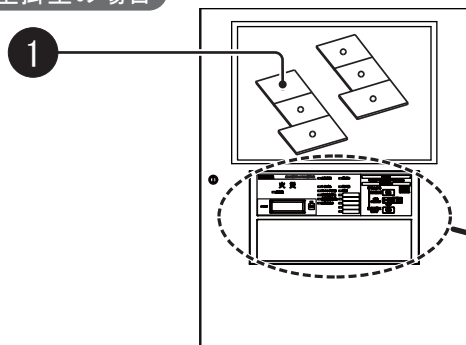
警告



禁止

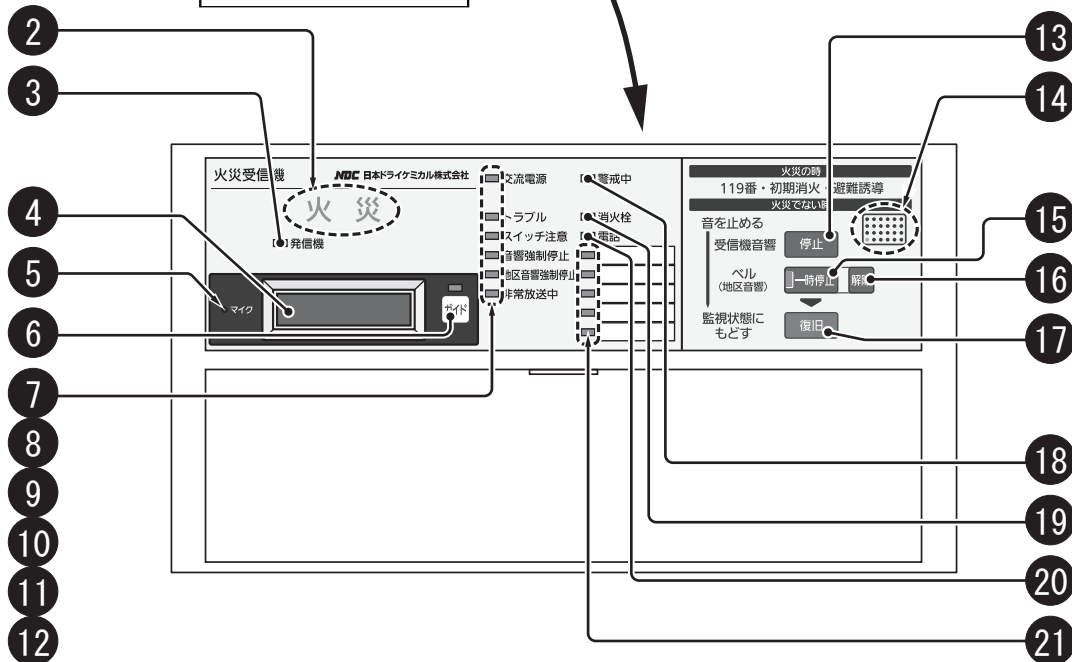
- 防火管理者および電気工事士・消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れない。感電・故障の原因になります。
- 保守・点検以外で、ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。
火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。
（ベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと、スイッチ内のランプ、スイッチ注意灯は点滅します。）

壁掛型の場合



平常時の受信機の状態

- 火災が発生したとき、受信機が正常に動作するように、平常時は下記の状態であることを確かめください。
- 平常時において下記の状態とならない場合、「4. 異常時の点検・処置」(16ページ)の内容を確認のうえ、点検契約店にご連絡ください。
- 交流電源灯……点灯(緑) ■警戒中灯……点灯(緑)
上記以外はすべて消灯



■音声ガイドについて

音声ガイドが鳴動する受信機の状態が2つ以上あっても、下表の順番でより優先順位の高い内容のみを知らせます。

受信機の状態	音声ガイド内容
電話呼び出し中	電話呼び出し中です。通話スイッチを押しながら話してください。
火災警報(第二報または発信機発報)	火事です。火事です。火災が発生しました。現場を確認してください。
火災警報(第一報)	火災感知器が作動しました。現場を確認してください。
トラブル発生中	トラブルが発生しました。トラブル確認スイッチを押して内容を確認してください。
受信機音響強制停止中	受信機音響強制停止中です。
地区音響強制停止中	地区音響強制停止中です。
スイッチ注意灯点滅中	定位でないスイッチがあります。

1 地区灯(赤)

- 「点灯」で火災発生の入力
- 「早点滅」で火災試験時の回線選択時
- 「遅点滅」で感知器配線の異常

2 火災灯(赤)

火災信号が入れば点滅します。

3 発信機灯(赤)

発信機の押ボタンが押されていると点滅します。

4 液晶表示部

火災信号が入ったとき、地区灯の点灯と同時に発報回線を表示したり、トラブル内容の表示をしたりします。

5 マイク

点検時等に使用します。「点検・施工される方へ」(19ページ)を参照

6 音声ガイドスイッチ(赤ランプ付)

受信機音響(主音響・機器作動音響・トラブル音響)が停止し、音声ガイドスイッチ灯が点滅しているときに押すと、受信機の状態を音声で知らせます。
※音声内容については、「音声ガイドについて」(9ページ)を参照してください。

7 交流電源灯(緑)

交流電源が入っていることを、点灯で知らせます。

8 トラブル灯(赤)

受信機または配線に異常が起きたとき、点滅で知らせます。点滅時は、施工店または点検契約店へ連絡してください。(異常の内容は液晶表示部で確認できます。)

9 スイッチ注意灯(赤)

いずれかのスイッチが通常の状態でないとき、点滅で知らせます。

10 音響強制停止灯(赤)

受信機音響(主音響・機器作動音響・トラブル音響)の「強制停止」状態が作動していると点滅で知らせます。

11 地区音響強制停止灯(赤)

地区音響の「強制停止」状態が作動していると点滅で知らせます。

12 非常放送中灯(赤)

非常放送設備のマイクスイッチを作動させると点滅で知らせます。

13 受信機音響停止スイッチ

押すと主音響・機器作動音響・トラブル音響が止まります。

(主音響・機器作動音響・トラブル音響は一度止めても、新たな火災信号・諸警報信号・トラブル信号が入れば、再び鳴動します。)

14 音声警報スピーカー

火災・トラブル発生時等に、「音声+音響」または「音響のみ」で発生を知らせます。

※詳細については、「音声警報スピーカーについて」(11ページ)を参照してください。

15 ベル(地区音響)一時停止スイッチ(赤ランプ付)

地区音響が鳴動しているときに押すと地区音響が一時的に停止し、スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅します。その後、自動解除時間(TA)経過後に再度、地区音響が鳴動します。

16 ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ

押すと地区音響の一時停止状態が解除され、ベル(地区音響)一時停止スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が消灯します。

17 復旧スイッチ

押すと火災灯・地区灯が消灯し、主音響・地区音響が止まり、通常の監視状態に戻ります。

18 警戒中灯(緑)(平常時点灯していること)

電源投入後、約20秒で起動処理が完了し、点灯します。試験復旧スイッチが押されている場合、または音響強制停止状態、地区音響強制停止状態の場合は消灯します。

19 消火栓灯(赤)

消火栓が作動すると点滅します。

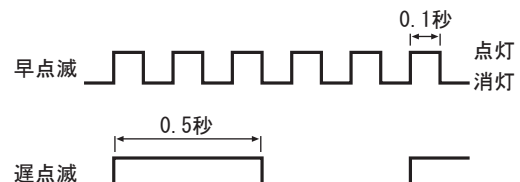
20 電話灯(赤)

電話の呼び出しがあると点滅します。

21 諸警報表示部(赤)

諸設備に異常が起きたときに、点灯で知らせます。

■点滅について



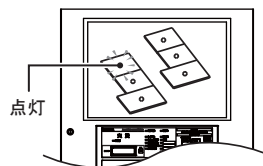
2

受信機が警報した場合

■主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 地区灯(赤)の点灯位置によってどこで火災が起きているか確かめる。

- 発信機のボタンが押されて発報している場合は、発信機灯が点滅します。
- 発信機灯が消灯している場合は、感知器が作動したことによる発報です。



液晶表示部
(感知器による火災発報時)

L003 カンチキサトウ
カクニンゴ オンキョウテイシ

2 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。(地区音響は鳴動しています。)



L003 カンチキサトウ
カクニンゴ オンキョウテイシ



3 出火場所へ行き状況を確認する。

火災の場合

4 119 番に通報する。

その後、避難誘導および、可能であれば初期消火など適切な処置をする。

5 火災鎮火後、復旧スイッチを押して通常の監視状態に戻す。



■液晶表示部について

※液晶表示部に部屋番号等のメッセージを表示させることもできます。
(設定説明書を参照してください。)



発報回線を示します。

■液晶表示部の表示切替

回線番号表示と部屋番号メッセージ表示を◀(左)・▶(右) 選択スイッチを押すことで切替えることができます。



■液晶表示部の拡大表示について

部屋番号を拡大表示させることもできます。拡大表示の場合、ガイド表示部の文言は表示されません。

(部屋番号メッセージ設定については、設定説明書を参照してください。)



部屋番号：1021の拡大表示

音声警報スピーカーについて

受信機の状態	音 響	音声(※1)
火災警報(第1報) 感知器作動音響	ピーピー	〇〇階で(△△回線で)(※2)火災感知器が作動しました。現場を確認してください。(女性の声)
火災警報(第2報または発信機発報) 火災確定音	ピーピー	火事です。火事です。〇〇階で(△△回線で)(※2)火災が発生しました。現場を確認してください。(男性の声)
トラブル時	ピーー	トラブルが発生しました。(女性の声)
機器の作動(警報入力作動)	プープープープー(※3)	-
電話呼出	プルルルル	-
蓄積開始時(1回のみ)(※4)	プー	蓄積中です。(女性の声)

※1 設定により、音響のみ(音声なし)を鳴動させる設定もできます。

※2 設定により、発報階・発報回線・場所なしの切替設定ができます。

※3 設定により、鳴動させない設定ができます。(出荷時設定「鳴動する」)

※4 設定により、鳴動させる設定ができます。(出荷時設定「鳴動しない」)

各種設定については施工店・点検契約店にご相談ください。

火災でない場合

4 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押して、地区音響を止める。

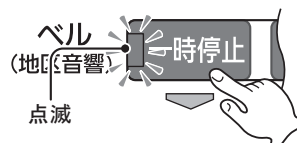
- スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅します。

注 スイッチ内のランプとスイッチ注意灯は、自動解除時間(TA)(約2分間・約4分間・約6分間・約8分間)経過後に消灯し、地区音響が再び鳴動します。

(現在設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、
施工店・点検契約店にご相談ください。)

L003 カサイド ナイ
トキ ヘルティシ ソウサ

※液晶表示部は第1報目の発報を
表示します。



5 地区灯の点灯している場所で、次の状況を確認め処置する。

感知器が作動していないか？

- 確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。

処置：作動した感知器から煙または熱を取り去る。

- 注**
- 煙感知器の場合、水蒸気・ホコリ・調理の煙などでも作動することがあります。
 - 熱感知器の場合、ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変化すると作動することもあります。

発信機を押ボタンが押されたままになっていないか？

- 発信機灯が点滅しています。

処置：発信機を押ボタンを元に戻す。

6 復旧スイッチを押し、地区灯と火災灯、液晶表示部が消えるか確かめる。

- ベル(地区音響)一時停止スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が消えます。
- 感知器の確認灯も消えます。

※地区灯・火災灯が消えない場合はもう一度 **4 5 6** の手順を繰り返してください。

L003 カサイド ナイ
トキ フッキウ ソウサ

監視状態に
もどす

復旧



7 通常の監視状態に戻る。

地区灯・火災灯が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご連絡ください。

ベル(地区音響)一時停止動作について

- 感知器が作動し、地区音響が鳴動しているときにベル(地区音響)一時停止スイッチを押すと地区音響が一時的に停止します。その後、受信機内で設定された時間(自動解除時間(TA))経過後に再度、地区音響が鳴動する動作です。一時停止中に発信機の発報が入った場合、または第2報目の火災発報が入った場合は、自動解除時間(TA)中であっても自動的に解除し、地区音響が鳴動します。

※ 自動解除時間(TA)は、約2分、約4分、約6分、約8分間で設定することができます。現在、設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、施工店または点検契約店にご相談ください。

ベル(地区音響)拡大警報動作について

- 第1報目の火災発報を受信してから、受信機内で設定された時間(一斉鳴動移行時間(TC))経過後に地区音響一斉鳴動へと移行します。発信機の発報が入った場合、または第2報目の火災発報が入った場合は、一斉鳴動移行時間(TC)中であっても全地区音響が一斉鳴動します。

※ 一斉鳴動移行時間(TC)は、約4分、約6分、約8分、約10分、OFF(移行しない)に設定することができます。現在、設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、施工店または点検契約店にご相談ください。



自動解除時間(TA)は、一斉鳴動移行時間(TC)より長い時間の設定はできません。
($TA \leq TC$ になるように設定してください。)

■ 自動解除時間(TA)の設定が「2分」、一斉鳴動移行時間(TC)の設定が「6分」の場合

※ 自動解除時間(TA)・一斉鳴動移行時間(TC)の設定については、設定説明書を参照してください。

1 感知器が作動する。

- 主音響・地区音響が鳴動し、火災灯は点滅、地区灯は点灯します。



2 受信機音響停止スイッチを押す。

- 主音響は停止し、火災灯は点滅、地区灯は点灯しています。
- 地区音響は鳴動しています。



3 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押す。

- 地区音響が停止し、スイッチ内のランプが点滅します。約2分後に再び鳴動します。再度、押すと地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。



4 感知器が作動してから約6分後に地区音響が一斉鳴動します。

- 地区音響一時停止中に約6分経過した場合、地区音響一時停止解除後に地区音響が一斉鳴動します。
- 感知器が復旧している場合、復旧スイッチを押すと地区音響一時停止状態は解除され通常の監視状態に戻ります。
- 発信機の押ボタンが押されると全地区音響が一斉鳴動します。

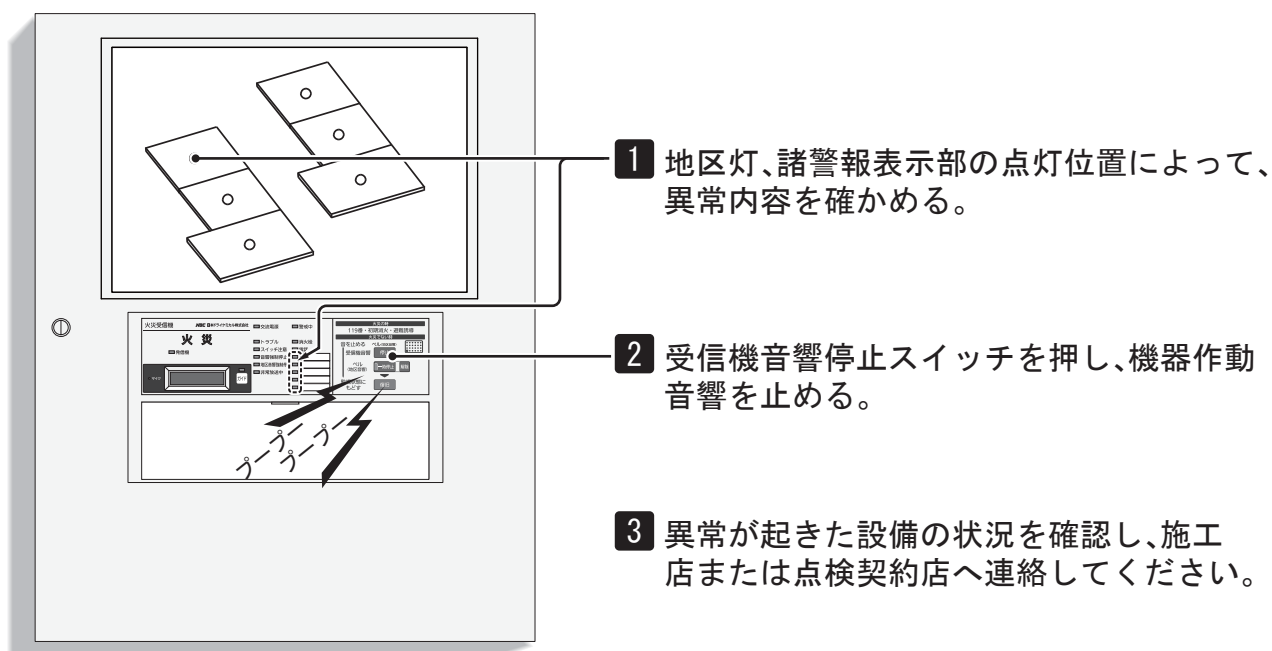
付属設備の作動について

付属設備がある場合の火災警報時の作動は、次のようになります。
あらかじめ、どのような付属設備が設置されているか確認してください。

副 受 信 機	●受信機の火災表示とともに副受信機の地区灯が点灯して、ブザーが鳴ります。
消 火 栓	●消火栓と連動している発信機を押ボタンまたは消火栓始動用押ボタンが押された場合は、消火栓が作動し、受信機の消火栓灯が点滅します。
非常放送設備	●火災警報時に非常放送設備のマイクスイッチを操作すると、非常放送が明瞭に聞こえるよう、受信機に接続されている地区音響(ベルなど)は自動的に止まり、受信機の非常放送中灯が点滅します。
非常放送設備 (音声警報機能付)	●受信機の火災表示とともに非常放送設備の音声警報が作動します。

機器作動時の対処方法

- 機器作動音響(プープープープー)が鳴ったら次の処置をしてください。



●図は壁掛型の場合

⚠ 注意



必ず守る

- 日常、次の点検を行う。
緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因となります。

受信機

- 「平常時の受信機の状態」に保たれているか？
(9ページ参照)
- 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

感知器

- 変形、割れなどがないか？
- ペンキなどで塗装されていないか？
- ビニールテープなどが貼り付けられていないか？
- 煙感知器の場合、クモの巣・ホコリなどがついていないか？
- 熱感知器の場合、下にストーブなどの熱源が置かれていないか？
- 火災の感知を妨げる障害物がないか？
- 下に多量に煙の発するものを使用していないか？
- 空気が管が切れたり、つぶれたりしていないか？

発信機

- 変形、損傷などがないか？
- 近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

表示灯

- ランプが消えていないか？
- カバーの割れ、亀裂はないか？

地区音響装置

- 変形、損傷などがないか？

機器に異常が見つかった場合は、点検契約店へご連絡ください。

4 異常時の点検・処置

警告



必ず守る

この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。
異常を放置すると火災時に警報が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

- 以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。
正常に戻らなかった場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
交流電源灯が消灯している。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
警戒中灯が消灯し、操作部のすべての表示灯が点灯している。		
火災でないのに警報動作をする。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？	煙・水蒸気などを取り除き、復旧スイッチを押す。
	熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？	熱などを取り除き、復旧スイッチを押す。
	発信機を押ボタンが押されたままになっていないか？	発信機を押ボタンを元に戻し、復旧スイッチを押す。
	どこにも火事や煙の発生がないことを十分確認したか？	地区音響を再鳴動させたくない場合は、地区音響強制停止にする。(施工店・点検契約店に連絡する。) 注 スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯し、約1分間隔でピッ音が鳴ります。この状態のままでは、正常に警報動作を行うことができません。必ず施工店または点検契約店に連絡してください。
スイッチ注意灯が点滅している。	ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していないか？	●ベル(地区音響)一時停止解除スイッチを押す。 ●ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していない場合は、施工店または点検契約店に連絡する。
諸警報表示部が点灯し、機器作動音響もしくはトラブル音響が鳴動している。	諸警報表示部の点灯位置によって、異常内容を確認する。	異常が起きた設備の状況を確認し、施工店または点検契約店へ連絡する。

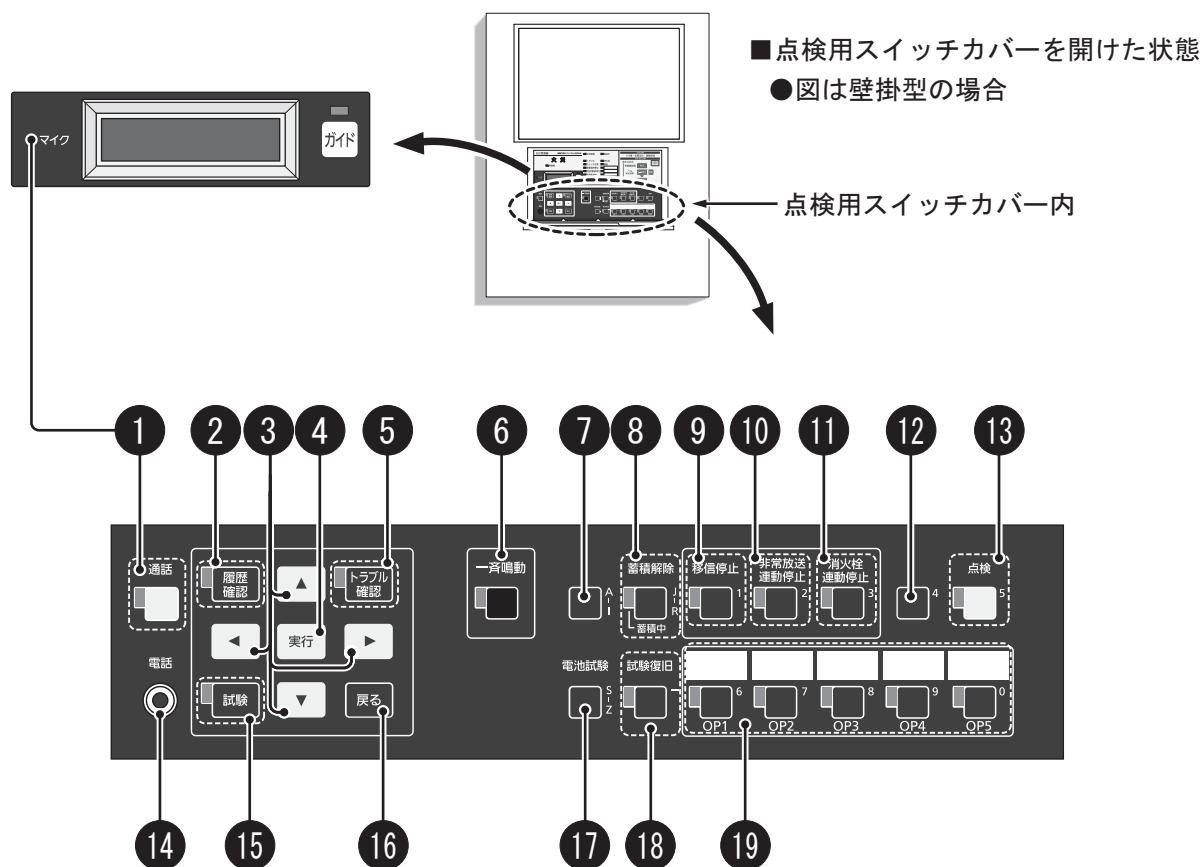
4

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
警戒中灯が消灯している。	音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？	受信機音響強制停止状態を解除する。
	地区音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？	地区音響強制停止状態を解除する。
	試験復旧スイッチ灯(赤)が点滅していないか？	試験復旧スイッチを押す。
火災でないのに警報動作している。	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す、感知器を確認する。
	火災以外の原因はないか？	日常点検をする。
火災でないのに復旧スイッチを押した後、再度火災警報する。	感知器または発信機が作動状態になっていないか？	●感知器から熱または煙を取り除く。 ●発信機の押ボタンを元に戻す。
	発信機灯が点滅していないか？	発信機の押ボタンを元に戻す。
非常放送中灯が点滅している。	非常放送地区音響停止端子(EB+、EB-)の配線が短絡していないか？	配線を直す。
操作表示部の警戒中灯以外のすべてのランプが点灯し、液晶表示部に「トラブル ドウサフノウ」が表示している。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
	交流一次側ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
	停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
	副受信機電源(I+、I-)が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
トラブル灯が点滅、トラブル音響が鳴動し、液晶表示部に「トラブル ＊ ＊ ＊」が表示している。	トラブル確認操作により、トラブル内容・発生場所を確認する。 (トラブル確認操作については「トラブル確認の方法」(32ページ)を参照してください。)	「トラブル確認の方法」(32ページ)の該当項目の点検・処置を行う。
L-C 配線の終端器をはずしても断線表示しない。	終端器設定が正しく設定されているか？	終端器設定を確認する。 詳しくは設定説明書を参照。
	該当回線が空き回線登録されていないか？	指定の終端器を接続した状態で空き回線登録を再度行う。
	該当回線の回線種別が警報回線に設定されていないか？	回線種別設定を確認する。 詳しくは設定説明書を参照。 (回線種別が警報回線の場合は断線表示はしない。)
発信機の押ボタンを押しても該当階の非常放送のメッセージが流れない。	該当回線の階が正しく設定されているか？	感知器回線の取付階設定(地区音響鳴動設定)を確認する。 詳しくは設定説明書を参照。
	配線が間違っていないか？	配線を直す。

1. 各部のなまえとはたらき	19～20
2. 点検のしかた	21～38
●点検する前に	21
●一斉試験の方法	21～22
●火災試験の方法	23～24
●感知器・発信機の作動回線の液晶表示部での確認方法	25
●差動式分布型感知器（空気管式）の作動継続時間の測定方法	26
●電池試験と電池の電圧測定方法	27
●受信機音響の強制停止のしかた	28
●地区音響の強制停止のしかた	28
●定時試験について	29
●現在時刻を設定する方法	29
●電話機（付属）の使い方	30
●機能設定（ソフト設定）の開始方法	31
●機能設定（ソフト設定）の終了方法	31
●交流電源スイッチを「入(ON)側」に するときのご注意	31
●交流電源スイッチを「切(OFF)側」に するときのご注意	31
●トラブル確認の方法	32～34
●発報／操作履歴の確認方法	35～38
3. 内部回路図	39～40
4. 定格・仕様	41～42
●壁掛型の場合	41
●自立型の場合	42
●感知器接続数	42

各部のなまえとはたらき



1 通話スイッチ／ 通話スイッチ灯(赤)／マイク

電話機(別売)を使わずに発信機または副受信機の電話機(付属)と通話をするときに使用します。
(「電話機(付属)の使い方」(30ページ)を参照)

2 履歴確認スイッチ／ 履歴確認スイッチ灯(赤)

履歴確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部に履歴メニューを表示し、履歴確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、履歴確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

3 ▲(上)・▼(下)・◀(左)・▶(右) 選択スイッチ

表示画面内容を切り替えるとき、または火災試験時の回線選択時に使用します。

4 実行スイッチ

表示画面内容を実行するときに使用します。

5 トラブル確認スイッチ／ トラブル確認スイッチ灯(赤)

トラブル確認を行うときに使用します。押すと液晶表示部にトラブル内容を表示し、トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。もう一度押すと、液晶表示部、トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

6 地区音響一斉鳴動スイッチ／ 地区音響一斉鳴動スイッチ灯(赤)

地区音響装置(BL+・Bn-BC)が一斉鳴動出力を行います。

(地区音響一斉鳴動スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………点滅)
もう一度押すと、出力が復旧します。
(地区音響一斉鳴動スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………消灯)

7 A-Iスイッチ

使用しません。
(ソフト設定時のみ使用します。)

↓ 次のページに続く

8 蓄積解除スイッチ／

蓄積解除スイッチ・蓄積中灯(赤)

火災信号による蓄積動作中に点灯します。押すと蓄積機能が解除されます。

- (蓄積解除スイッチ・蓄積中灯／
スイッチ注意灯……………点滅)
もう一度押すと、蓄積機能が有効になります。
(蓄積解除スイッチ・蓄積中灯／
スイッチ注意灯……………消灯)

9 移信停止スイッチ／

移信停止スイッチ灯(赤)

- 押すと代表移信接点 (Fa1・Fb1-Fc1、Fa2・Fb2-Fc2、Fa3-Fc3、Fa4・Fb4-Fc4、Fa5-Fc5)の出力が「停止」状態となり火災信号が入っても誘導灯などは作動しません。

(移信停止スイッチ灯／スイッチ注意灯…点滅)

もう一度押すと、停止解除になります。

(移信停止スイッチ灯／スイッチ注意灯…消灯)

- 回線別移信 (In-IC) も移信停止スイッチで停止します。(出荷時設定)

回線別移信 (In-IC) を停止するスイッチは、ソフト設定で変更することができます。(詳しくは設定説明書を参照してください。)

10 非常放送連動停止スイッチ／

非常放送連動停止スイッチ灯(赤)

押すと感知器が作動しても接続された非常放送設備は連動しません。非常放送設備への無電圧接点 (EA1…EAn、EF-EC) の信号出力が「停止」状態となり、火災信号が入っても非常放送の音声警報は鳴動しません。

- (非常放送連動停止スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………点滅)
もう一度押すと、停止解除になります。
(非常放送連動停止スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………消灯)

11 消火栓連動停止スイッチ／

消火栓連動停止スイッチ灯(赤)

押すと発信機を押しても消火栓は連動しません。

- (消火栓連動停止スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………点滅)
もう一度押すと、停止解除になります。
(消火栓連動停止スイッチ灯／
スイッチ注意灯……………消灯)

12 4スイッチ

使用しません。

(ソフト設定時のみ使用します。)

13 点検スイッチ／点検スイッチ灯(赤)

受信機音響強制停止、地区音響強制停止、全回線空き回線登録解除を行うときに使用します。点検スイッチを1秒以上押したときに点滅(スイッチ有効状態)します。点検スイッチを1秒以上押した場合は、点検スイッチを放した後も点検状態を継続します。(10秒点滅継続)

14 電話ジャック

電話機のプラグを差し込み、発信機または副受信機との通話に使用します。

15 試験スイッチ／試験スイッチ灯(赤)

一斉試験、火災試験を行うときに使用します。押すと液晶表示部に試験メニューを表示し、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。

もう一度押すと、液晶表示部、試験スイッチ灯とスイッチ注意灯が消灯します。

16 戻るスイッチ

表示画面内容を1つ前の階層に戻すときに使用します。

17 電池試験スイッチ

押すと自動的に電池試験を行います。試験結果は液晶表示部に表示します。テスターなどで電圧を測定する場合は、受信機内部の電圧測定用の端子を利用します。

18 試験復旧スイッチ／

試験復旧スイッチ灯(赤)

押すと感知器の作動試験時に、受信機発報後約6秒後に感知器などを強制的に自動復旧させます。

- (試験復旧スイッチ灯／スイッチ注意灯…点滅)
(警戒中灯……………消灯)
もう一度押すと、試験復旧が解除されます。
(試験復旧スイッチ灯／スイッチ注意灯…消灯)
(警戒中灯……………点灯)

19 OP(オプション)スイッチ1・2・3・4・5／OP(オプション)スイッチ1灯・2灯・3灯・4灯・5灯(赤)

押すと設定された動作をします。各代表移信接点を連動停止や接点出力などに設定可能です。詳しくは、設定説明書を参照してください。

(OPスイッチ灯／スイッチ注意灯……………点滅)

もう一度押すと、元に戻ります。

(OPスイッチ灯／スイッチ注意灯……………消灯)

点検する前に



警告



必ず守る

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作する。不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じる。引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。
- 試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻す。火災時、正常な火災警報動作をしません。

一斉試験の方法

- この試験は、1回線目から順次、自動的に受信機内の試験をします。実際の火災発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、感知器、発信機などの機器を含めて、試験をしてください。
- 各試験で記載どおりに動作しない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。
- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

- 1 試験スイッチを押し、液晶表示部に「イッセイ シケン」を表示させてから実行スイッチを押す。

(試験スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。)

- 「火災表示試験」「使用回線表示試験」「ランプ表示試験」「蓄積時間測定試験」「メモリー試験」を順次、自動的に行います。



イッセイ シケン



火災表示試験

- 2 地区灯が回線ごとに順次点灯することを確認する。

- 順次点灯するごとに火災灯が点灯し、主音響(音響のみ)が鳴動することを確認してください。
- 回線種別設定を警報回線に設定している場合は、機器作動音響が鳴動することを確認してください。
- 地区音響の鳴動、代表移信の出力はしません。

使用回線表示試験

- 3 使用されている回線の地区灯だけが点灯することを確認する。(約10秒間)



次のページに続く

ランプ表示試験

4 火災灯、地区灯、操作部のすべてのランプが点灯することを確認する。(約10秒間)

- 液晶表示部は約5秒間、全面「■」表示、その後約5秒間「(表示なし)」になります。



約5秒間表示



約5秒間表示

蓄積時間測定試験

5 ① ピッという音で、熱感知器および煙感知器の蓄積開始を知らせます。

② 5秒～10秒後

- ピッという音で、熱感知器の蓄積終了を知らせます。

③ 55秒～60秒後、液晶表示部に結果を5秒間表示します。

- ピッという音で、煙感知器の蓄積終了を知らせます。

チクセキ シメカン
 Netz: s ケムリ: s



チクセキ シメカン
 Netz: 6s ケムリ: s



チクセキ シメカン
 Netz: 6s ケムリ: 58s

- SIは「秒」を示します。

メモリー試験

6 受信機内部で自動的にプログラムデータのチェックをする。

- 「メモリ シケン NG」と表示された場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。
- 良の場合は、「メモリ シケン OK」と表示されます。

7 試験スイッチを再度押し、平常時の監視状態に戻す。

- 試験スイッチ灯、スイッチ注意灯、液晶表示部が消灯します。

試験中に火災を受信した場合

自動的に試験状態を解除し、ただちに火災警報します。



注 液晶表示部は「イッセイ シケン」の表示に戻ります。(試験開始前の表示)

試験スイッチを再度押すことにより、火災の表示に切り替わります。

火災試験の方法

この試験は、受信機内の試験をします。実際の火災発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、感知器、発信機などの機器を含めて、試験をしてください。

●以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

1 試験時、この受信機と接続されている機器を連動させないようにする場合は、次の該当するスイッチを押す。(スイッチ注意灯が点滅します。)

- 火災代表移信をしないときは、「移信停止スイッチ」を押してください。(移信停止スイッチ灯が点滅します。)
火災代表移信接点 (Fc1-Fa1、Fb1) (Fc2-Fa2、Fb2) (Fc3-Fa3) (Fc4-Fa4、Fb4) (Fc5-Fa5) が連動しません。
- 消火栓連動をしないときは、「消火栓連動停止スイッチ」を押してください。(消火栓連動停止スイッチ灯が点滅します。)
無電圧接点 (H1-H2) が連動しません。
- 受信機の音響を鳴動させない場合は、受信機音響強制停止状態にしてください。(音響強制停止灯が点滅します。)
- 地区音響を鳴動させない場合は、地区音響強制停止状態にしてください。(地区音響強制停止灯が点滅します。)
BL+、B1…Bn-BC が連動しません。(約 1 分間隔でピッ音が鳴ります。)
- 非常放送連動をしないときは、「非常放送連動停止スイッチ」を押してください。(非常放送連動停止スイッチ灯が点滅します。)
無電圧接点 (EF、EA1…EAn-EC) が連動しません。
- 回線別移信をしないときは、回線別移信停止設定した該当のスイッチを押してください。(回線別移信停止設定については、設定説明書を参照してください。)
押すと回線別移信 (In-IC) の出力が停止になります。(IC 以外のコモン端子 (IC0、IC1、…ICn) を使用している場合は出力停止しません。)

2 試験スイッチを押し、続いて▼スイッチを押し、液晶表示部に「カサイ シケン」を表示させてから実行スイッチを押す。



カサイ シケン
カイセン[L001]

- 液晶表示部下段に「カイセン[L001]」が表示され、該当の地区灯が早点滅します。

3 ▲▼スイッチを押し、火災試験を行う回線を選択する。

回線の火災試験の場合

▲▼スイッチを押して、火災試験を行う回線を選択します。

- 選択した回線の地区灯が早点滅します。

カサイ シケン
カイセン[L001]

4 回線を選択した後、実行スイッチを押す。

回線の火災試験の場合

1 報目の火災試験のとき、蓄積解除スイッチ・蓄積中灯(赤)が点灯しますので、この間(約 8 秒間)実行スイッチを押し続けてください。

(※ 2 報目以降の火災試験からは実行スイッチを押すだけで 5 の動作に移行します。)



↓ 次のページに続く

- 5 火災灯が点滅し、選択した回線の地区灯が点滅から点灯になる。
 - 主音響および地区音響が鳴動します。(強制停止していない場合)
- 6 復旧スイッチを押して警報を止める。 
- 7 試験スイッチを押すと液晶表示部と地区灯が消える。
(回線選択状態のまま放置した場合でも約 32 分後に消えます。)
- 8 1 で連動停止・音響停止させたスイッチを平常時の状態に戻す。
(各スイッチ内のランプは消灯します。)
- 9 スイッチ注意灯が消灯し、平常時の監視状態に戻る。

試験中に火災を受信した場合

- 試験中の回線が火災を受信した場合、6 の操作のあとに火災警報します。
- 試験中以外の回線の地区灯が点灯した場合、その回線で火災発生可能性がありますので 6 の復旧操作後の「火災」表示で火災の確認を行ってください。

感知器・発信機の作動回線の 液晶表示部での確認方法

- この操作は、火災が複数箇所発生しているとき、部屋番号等のメッセージや回線を確認するための操作です。
- 以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

(1)メッセージ表示を回線表示に切り替えたい場合



▶スイッチ(または◀スイッチ)を押すたびにメッセージ表示と回線表示が切り替わります。



メッセージを表示させたい場合はソフト設定が必要です。詳しくは設定説明書を参照してください。

(2)火災が複数箇所発生している場合

例 火災が全部で3箇所発生

0101号 カサイ ハッセイ
カクニンコ` オンキョウテイシ (第1報目の表示)



0102号 カサイ ハッセイ
カクニンコ` オンキョウテイシ (第2報目の表示)



0103号 カサイ ハッセイ
カクニンコ` オンキョウテイシ (第3報目の表示)



カサイ ハッセイ
カクニンコ` オンキョウテイシ (表示ブランク)



0101号 カサイ ハッセイ
カクニンコ` オンキョウテイシ (第1報目の表示)

差動式分布型感知器(空気管式)の 作動継続時間の測定方法

●感知器が作動してから接点が開くまでの時間を測定する方法です。

テスターによる測定

●以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

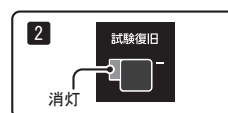
1 蓄積解除スイッチを押す。

●蓄積解除スイッチ・蓄積中灯、スイッチ注意灯が点滅します。



2 試験復旧解除状態にする。

●試験復旧灯が消灯します。



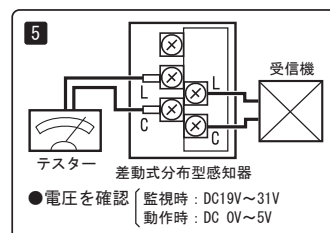
3 地区音響強制停止状態にする。

●地区音響強制停止灯が点滅します。
(約1分間隔でピッ音が鳴ります。)



4 差動式分布型感知器の試験孔に空気注入 試験器で規定量の空気を注入する。

5 感知器のL-C端子間の電圧が0V～5Vになっ ている時間を測定する。



6 復旧スイッチを押して、警報を止める。

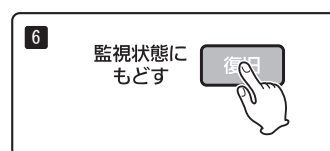
7 蓄積解除スイッチを再度、押す。

●蓄積解除スイッチ・蓄積中灯が消灯します。

8 地区音響強制停止状態を解除する。

●地区音響強制停止灯は消灯します。

9 スイッチ注意灯が消灯、平常時の監視状態に戻る。



試験中に火災を受信した場合

試験中の回線が火災を受信した場合、6の操作のあとに火災警報します。

電池試験と電池の電圧測定方法

この試験は、受信機の予備電源として内蔵されている電池に異常がないかを調べるものです。電池電圧値を測定する場合は、下記の「電圧測定」をしてください。

電池試験

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

1 電池試験スイッチを押す。

- 液晶表示部上段に「デンチ シケン チュウ」が表示され、自動的に5秒間電池試験を実行します。電池試験スイッチを押し続けることにより、連続して電池試験を実施することができます。

(電池試験中は交流電源灯が消灯します。)

- 電池試験スイッチを5秒以上押し続けた場合は、電池試験スイッチを押すのをやめた時点で結果表示を行います。



デンチ	シケン	チュウ
**.*V		

2 試験結果が「良」の場合は、液晶表示部下段に「リョウ **.*V」(**.*Vは電池電圧)が表示されます。

- 液晶表示部の電池電圧は目安です。正確な電池電圧を測定する場合は下記の「電圧測定」をしてください。
- 「不良」の場合、電池を交換してください。(施工説明書を参照)

「良」の場合

デンチ	シケン	ケツカ
リョウ	**.*V	

「不良」の場合

デンチ	シケン	ケツカ
フリョウ		

電圧測定

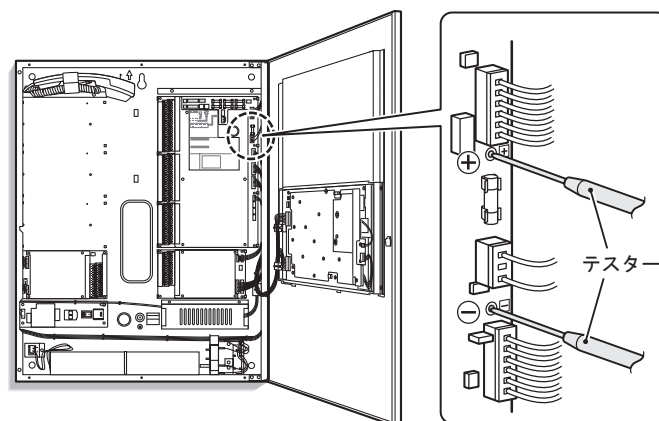
- 以下の試験は、扉を開けて実施してください。

1 電池試験スイッチを押し、液晶表示部に「デンチ シケン チュウ」を表示している間に、本体内の電池電圧の端子にテスターを当てて測定する。

(20.4V以上あれば正常です。)



極性を間違えないよう、ご注意ください。



受信機音響の強制停止のしかた

- 点検時、受信機から主音響・トラブル音響・機器作動音響を鳴動させない場合に設定します。
- 受信機の音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押して点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「受信機音響停止スイッチ」を押してください。
(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)
(地区音響強制停止時の約1分ごとのピッ音のような音は鳴りません。)



解除する場合

- 再度「点検スイッチ」を1秒以上押して点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「受信機音響停止スイッチ」を押してください。
(スイッチ注意灯と音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)



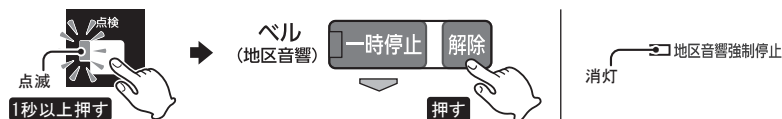
地区音響の強制停止のしかた

- 点検時、地区音響を鳴動させない場合に設定します。
- 地区音響を止める場合は、「点検スイッチ」を1秒以上押して点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「ベル(地区音響)一時停止スイッチ」を押してください。(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。)
BL+・Bn-BC(DC24V 出力)が出力しません。
- 約1分間隔でピッ音が鳴ります。



解除する場合

- 再度「点検スイッチ」を1秒以上押して、点検状態(点検スイッチ灯点滅)のときに「ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ」を押してください。
(スイッチ注意灯と地区音響強制停止灯が消灯し、警戒中灯が点灯します。)



定時試験について

- この試験は受信機内の試験です。
- 定時試験の内容は、「火災受信回路試験」「電源試験(電池試験)」「登録データのチェック」です。
- 試験は毎日設定された時刻に実施し、異常がある場合は168時間(7日)以内に検出します。異常を検出した場合、トラブル灯が点滅し、液晶表示部にトラブル表示します。
 (● 定時試験開始時刻の設定については、設定説明書を参照してください。
 ● トラブル発生時の点検・処置については、「トラブル発生時の点検・処置」(33ページ)を参照してください。)

現在時刻を設定する方法

- 本受信機の運用にあたっては、必ず現在の日付と時刻を設定してください。設定しないと、正しい発報／操作履歴データを記憶できません。



受信機の交流電源スイッチを「切 (OFF)」側 (電池もはずした状態) にしたときの現在時刻のバックアップ時間は約 48 時間です。

- 以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

- 1 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを4回押して、液晶表示部に「ゲンザイジコク セッテイ」を表示させてから実行スイッチを押し。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 現在の日付・時刻が表示されます。

- 2 ◀▶スイッチを押し、カーソル([])を年、月、日、時、分のいずれかにあわせ、▲▼スイッチで値を変更する。

- 3 実行スイッチを押し。

- 実行スイッチを押さないと、現在時刻の設定は行われません。
 (実行スイッチを押さずに、戻るスイッチを押すと変更がキャンセルされます。)

- 4 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。

1

点滅

履歴確認

押し

4回押す

▼

実行

押し

例 現在の日付・時刻：
2015年6月7日12時34分

ゲンザイ ジコク
セッテイ

ゲンザイ ジコク
[15]/06/07 12:34

年/月/日 時:分

2

例 時刻を12時34分から
13時30分に変更する場合

ゲンザイ ジコク
[15]/06/07 12:34

3回押す

▶

ゲンザイ ジコク
15/06/07 [12]:34

1回押す

▼

ゲンザイ ジコク
15/06/07 [13]:34

1回押す

▶

ゲンザイ ジコク
15/06/07 13:[34]

4回押す

▲

ゲンザイ ジコク
15/06/07 13:[30]

3

実行

押し

ゲンザイ ジコク
セッテイ

電話機(付属)の使い方



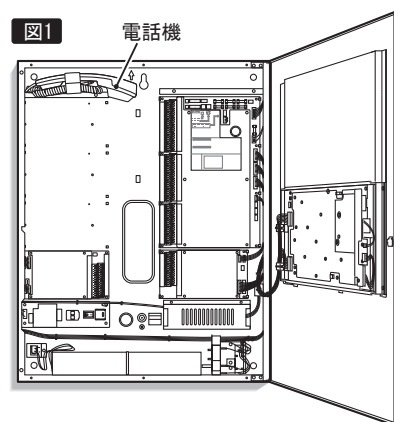
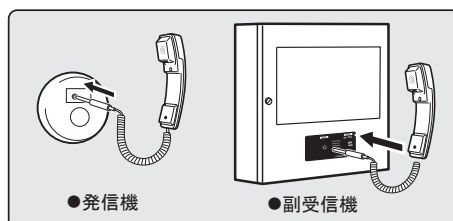
- 電話の呼び出しがない状態では、受信機の電話ジャックに電話機のプラグを差し込まないでください。差し込んだままにすると電話音響が鳴動しません。
- この電話機(付属)では、消防署への通報はできません。

- 火災状況の確認などの連絡ができます。

電話機(付属)の使い方

受信機と発信機間または受信機と副受信機間で、火災状況の確認など電話連絡ができます。

- 1 電話機は受信機内部に収納されているか(図1 参照)、収納袋に収納され、受信機の近くに吊り下げられています。
- 2 電話機(付属)のプラグを、発信機または副受信機の電話ジャックに差し込みます。



- 3 受信機の電話音響が自動的に鳴り、電話の呼び出しを知らせます。
 - 電話灯が点滅します。
- 4 点検用スイッチカバーを開ける。
- 5 受信機音響停止スイッチを押すと、電話音響が停止して、相手側の電話音声を受信機のスピーカーから聞き取れます。



TEL コール
ツウワSW テ ツウワ カノウ

- 6 通話スイッチを押している間は、逆に受信機側の音声が発信機または副受信機に接続した電話機で聞き取れるように切り替わります。

- 通話スイッチ灯が点灯します。



通話スイッチを押している間は、相手側の電話音声は聞こえません。
(片方向通話 プッシュトーク)

別売の電話機をもう一台持っている場合

電話灯が点滅中に電話ジャックにもう一台の電話機のプラグを差し込んで、電話機どうしで通話することができます。

- 電話ジャックに電話機のプラグを差し込むと電話音響は自動的に止まります。
- プッシュトーク中に電話ジャックに電話機のプラグを差し込むとプッシュトークは停止します。

機能設定(ソフト設定)の開始方法

- 電池接続コネクタを抜いて、電源スイッチを「切」にした状態から、本体内部のソフト設定スイッチを押しながら電源投入することで機能設定(ソフト設定)が開始します。
交流電源灯・警戒中灯・トラブル灯・消火栓灯・スイッチ注意灯・電話灯が点滅します。
(設定項目、設定方法等詳しい内容は設定説明書を参照してください。)

機能設定(ソフト設定)の終了方法

- 液晶表示部に右記内容が表示されるまで戻るスイッチを押します。
- 実行スイッチを押し、すべての設定内容を保存します。
保存終了後、登録完了音(ピッピッピッ)が鳴り、受信機が再起動します。

セッテイ シュウリョウ	▲
シッコウテ END	▼



本操作を行わないと、設定データは書き換わりません。

交流電源スイッチを「入(ON)」側にする ときのご注意

非常放送連動・移信連動・消火栓連動は、すべて停止解除(連動可能)状態で起動します。接続されている機器が連動しないように注意してください。

交流電源スイッチを「切(OFF)」側にする ときのご注意

受信機の電源を切る場合は、電池接続コネクタを抜いた後、約10秒以上待ってから、交流電源(AC100V)スイッチを「切(OFF)」側にしてください。約10秒待たずに受信機の交流電源を「切(OFF)」側にした場合は、発報/操作履歴データが記憶できない場合があります。

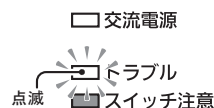
トラブル確認の方法

●この操作はトラブル灯が点滅し、トラブル音が鳴動したとき、トラブルの内容を確認するための操作です。

●以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

1 トラブルが発生すると

- トラブル灯が点滅し、トラブル音（「ピー トラブルが発生しました。」）が鳴り、液晶表示部にトラブル内容を表示します。



トラブル EB ダンセン
オンキョウテイシ ソウサ

2 受信機音響停止スイッチを押す。

- トラブル音が止まります。



トラブル EB ダンセン

トラブルが複数箇所発生している場合

1 トラブル確認スイッチを押す。

- トラブル確認スイッチ灯とスイッチ注意灯が点滅します。
- 液晶表示部上段に「トラブル 001 / n」(1 番目のトラブル)
(n: 総発生数)、下段にトラブル内容を表示します。
- トラブル内容の音声メッセージが鳴動します。
(音声メッセージが鳴動するトラブルについては「トラブル発生時の点検・処置」(33 ページ)を参照してください。)



トラブル 001 / 003
EB ダンセン

例 トラブルが全部で 3 ヶ所発生していて 1 番目に表示されるトラブルが EB 断線の場合

2 ▼スイッチを押すたびに次のトラブル内容に変わります。

- トラブル表示順番は発生順ではなく「トラブル発生時の点検・処置」(33 ページ)の順番になります。
- 一部のトラブルについては音声でも知らせます。(受信機音響強制停止中は鳴動しません。)

3 「トラブル発生時の点検・処置」(33 ページ)にしたがってトラブルを復旧させる。

- トラブルが復旧すれば、トラブル灯が消灯し、液晶表示部のトラブル内容も消えます。

■トラブル発生時の点検・処置

トラブル名称 [液晶表示部の表示内容]	トラブル内容の 音声メッセージ	点 検	処 置
交流電源断 [A C タ ン]	交流電源が 切れています。	受信機内の交流電源スイッチが「切 (OFF)」側に なっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入 (ON)」側 にする。
		AC100V 配線が断線していないか？	配線を直す。
		停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れてい ないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
電池未接続 [B T ハ ス レ]	バッテリーが 異常です。	電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続する。
		電池ヒューズ (F3) が切れていないか？	ヒューズを交換する。
電池試験不良 [B T シ ケ ン N G]	バッテリーが 異常です。	電池試験を行い、電池試験結果が「良」となる か？	新しい電池と交換し、再度電池試験を行い、 結果が「良」になることを確認する。 (新しい電池に交換しても、再度電池試験 をしないと「B T シ ケ ン N G」の表示は消 えません。)
主回路電圧異常 [デ ン ア ツ E r r]	回路電圧が 異常です。	交流電源スイッチが「切 (OFF)」側の状態で電池 の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入 (ON)」側 にする。
		停電などにより、受信機の交流電源が切れてい ないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		副受／中継器用電源 (I+-I-) が 20.4V 以上ある か？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れてい ないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
受信機動作不能 [ト ー サ フ ノ ウ]	-	交流電源スイッチが「切 (OFF)」側の状態で電池 の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入 (ON)」側 にする。
		停電などにより、受信機の交流電源が切れてい ないか？	停電状態が復電するまで待つ。
		副受／中継器用電源 (I+-I-) が 20.4V 以上ある か？	受信機内部の電源回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
		交流電源一次側ヒューズ (F1・F2) が切れてい ないか？	受信機内部の異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
ヒューズ断線 [ヒューズ タ ン]	ヒューズが 切れています。	副受／中継器ヒューズ (F1) が切れていないか？	副受／中継器用電源配線 (I+・IB+I-) の短 絡を直し、ヒューズ (F1) を交換する。※
		発信機応答ヒューズ (FAN) が切れていないか？	発信機応答線 (A-C) の短絡を直し、ヒューズ (FAN) を交換する。※
		表示灯ヒューズ (FU) が切れていないか？	表示灯配線 (U+U-) の短絡を直し、ヒューズ (FU) を交換する。※
		地区音響ヒューズ (FB) が切れていないか？	地区音響配線 (BL+・Bn-BC) の短絡を直し、 ヒューズ (FB) を交換する。※
外部トラブル [N* ト ラ ブ ル (* : 1~5)]	-	諸警報入力端子 (Nn-NC) に接続されている機器 が出力していないか？	接続機器を確認する。
		諸警報入力端子 (Nn-NC) が短絡していないか？	配線を直す。
メモリ異常 [メ モ リ E r r]	-	-	内部メモリ異常(プログラム情報)です。 施工店または点検契約店に連絡する。
登録データ異常1 [デ ー タ E r r 1]	-	-	ソフト登録データ異常です。ソフト設定を 再度行う。
登録データ異常2 [デ ー タ E r r 2]	-	-	使用回線の登録データ異常です。空き回線 登録を再度行う。
登録データ異常3 [デ ー タ E r r 3]	-	-	内部メモリ異常(ユニット情報)です。 施工店または点検契約店に連絡する。

※定格のヒューズに交換してください。ヒューズ断線を繰り返す場合は、接続機器が定格範囲内かをご確認ください。

 次のページに続く

2 点検のしかた

トラブル名称 [液晶表示部の表示内容]	トラブル内容の 音声メッセージ	点 検	処 置
ユニット異常1 [UT*-##Err1 (*:ユニット種類 ※1) (##:ユニットアドレス)]	-	-	受信機内部の該当ユニットもしくは内部ハーネスが異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
ユニット異常2 [UT*-##Err2 (*:ユニット種類 ※1) (##:ユニットアドレス)]	-	-	受信機内部の該当ユニットが異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。
非常放送配線断線 [EB タンセン]	非常放送配線が異常です。	非常放送地区音響停止端子 (EB+-EB-) の配線が断線していないか？	配線を直す。
		非常放送地区音響停止端子 (EB+-EB-) を使用していない場合、終端抵抗器が接続されているか？	非常放送地区音響停止端子に指定の終端抵抗器 (10kΩ) を接続する。
感知器配線異常 [L*** タンセン] (***:回線番号)	感知器配線が異常です。	感知器配線 (Ln-C) が断線していないか？	配線を直す。
		感知器配線 (Ln-C) に終端器が接続されているか？	指定の終端器を接続する。
		指定外の終端器が接続されていないか？	指定の終端器を接続する。
		終端器設定が正しく設定されているか？	終端器設定を確認する。(詳しくは設定説明書を参照。)
		使用していない回線 (Ln-C) の空き回線登録がされているか？	受信機の空き回線登録スイッチで空き回線の再登録を行う。
火災受信回路異常 [カイロ*** Err] (***:回線番号)	-	一斉試験を行い、火災表示試験項目で全回線点灯するか？または、該当回線の火災試験を行い、正常に火災状態になるか？	受信機内部の火災受信回路が異常です。 施工店または点検契約店に連絡する。

※1「ユニット種類について」(38 ページ)を参照してください。

発報／操作履歴の確認方法

- この操作は、過去の受信機動作・操作内容を確認するための操作です。



発報／操作履歴画面は、蓄積中および火災警報時に表示することはできません。

- 以下の操作は、点検用スイッチカバーを開けて実施してください。

- 履歴確認スイッチを押し、液晶表示部に「リレキ カクニン」を表示させてから実行スイッチを押す。
 - 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。
 - 液晶表示部に履歴内容を新しい物から表示します。
- ▼スイッチを押すごとに履歴内容が変わります。
 - 火災発生の履歴表示時は、発生回線の地区灯も点灯します。
- 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。
 - 履歴確認スイッチ灯・スイッチ注意灯が消灯します。

履歴確認

点滅

押す

実行

リレキ カクニン

▼

例 2月3日14時00分に復旧スイッチを操作された場合

イベントが発生した 月/日 時:分

リレキ 02/03 14:00

イベント内容

フツキュウ

2

▼

押す

リレキ 02/03 13:30

L001 カサイ

例 2番目の履歴内容
2月3日13時30分に回線1で火災が発生

履歴をSDカードに書き出したい場合

履歴データをSDカードに出力して、パソコンに取り込んで表示することができます。



パソコンで表示させるには専用ツール(FP2TG(ver4以降))が必要です。

- SDカードを差し込む。
 - 「SDカードについて」(36ページ)を参照してください。
- 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを1回押して、液晶表示部に「リレキ SD カキダシ」を表示させて、実行スイッチを押す。
 - 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。
- 再度、実行スイッチを押す。
 - SDカードへの履歴データの出力が始まります。
- 出力が終わると、液晶表示部に「カキダシ カンリョウ」が表示されます。
 - 液晶表示部下段の進行状況表示の「□」がすべて「■」になると、「カキダシ カンリョウ」が表示されます。
- SDカードを取り出す。
 - 「SDカードについて」(36ページ)を参照してください。
- 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。
 - 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。

2

履歴確認

点滅

押す

1回押す

▼

押す

実行

リレキ SD カキダシ

▲

▼

リレキ SD カキダシ

OK?

[ハイ]

3

カキダシチュウ モトールデ

□□□□□□□□ チュウタン

4

カキダシチュウ モトールデ

■■■■■■■■■■ チュウタン

カキダシ カンリョウ

[モトール]

SD カードについて

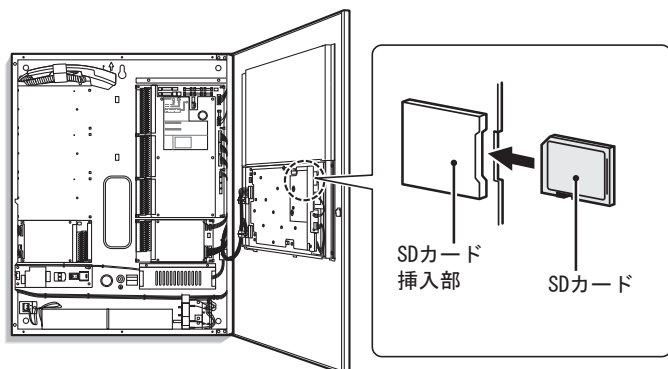
受信機に保存された発報／操作履歴データを専用ツール（FP2TG(ver4 以降)）を使ってパソコンに表示したい場合は、SD カードを SD カード挿入部に入れてください。



- SD カードは付属していません。別途ご購入ください。
- パナソニック製の SD カードあるいは SDHC カードをお使いいただくことをおすすめします。

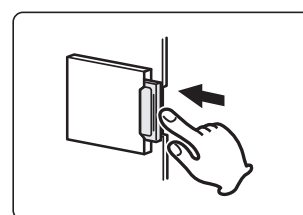
- 1 受信機の扉をあける。
- 2 受信機内(操作部裏側)の SD カード挿入部に SD カードを差し込む。

- 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥に挿入してください。



取り出し方

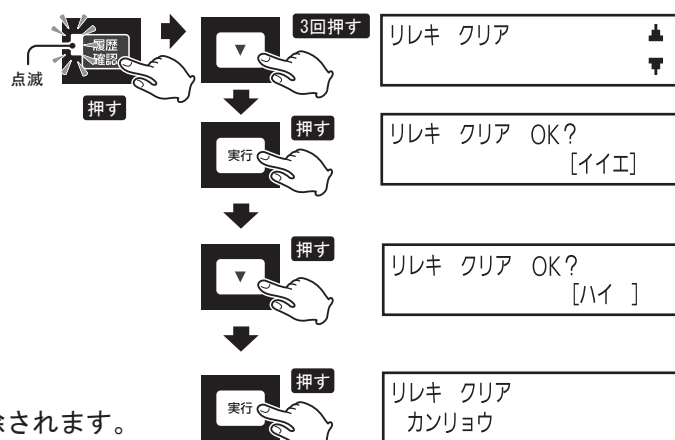
- 1 SD カードをカチッと音がするまで押してから、取り出す。



履歴を消したい場合

- 1 履歴確認スイッチを押し、続いて▼スイッチを 3 回押し、液晶表示部に「リレキ クリア」を表示させてから実行スイッチを押す。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が点滅します。



- 2 ▼スイッチを押し、「ハイ」に変更する。
- 3 実行スイッチを押す。
 - 今までに記録していたすべての履歴内容が削除されます。
 - 履歴クリアすると、完了音(ピッ音)が鳴ります。
- 4 履歴確認スイッチを再度押すと、平常時の監視状態に戻る。

- 履歴確認スイッチ灯、スイッチ注意灯が消灯します。

履歴表示内容

イベント名称	液晶表示部	履歴内容
受信機動作開始	キト`ウ カイシ ** (** : 00-02)	受信機が動作開始したことを示します。 (**...00 : 交流電源スイッチ「入(ON)」 01,02 : ソフト設定終了などによる再起動)
火災蓄積中(回線)	L*** チクセキ (** : 回線番号)	該当回線 (L***-C) の感知器回線の入力により蓄積開始したことを示します。
	***** チクセキ (***** : 部屋番号メッセージ)	該当部屋番号メッセージの感知器回線の入力により、蓄積開始したことを示します。部屋番号メッセージが拡大表示設定時も標準文字サイズ表示になります。 ◀(左)・▶(右)選択スイッチを押すことで、回線番号と部屋番号メッセージ表示を切替えることができます。
感知器(回線)発報 (火災スプリンクラー含む)	L*** カサイ (** : 回線番号)	該当回線 (L***-C) の感知器回線の入力により火災に至ったことを示します。
	***** カサイ (***** : 部屋番号メッセージ)	該当部屋番号メッセージの感知器回線の入力により、火災に至ったことを示します。部屋番号メッセージが拡大表示設定時も標準文字サイズ表示になります。 ◀(左)・▶(右)選択スイッチを押すことで、回線番号と部屋番号メッセージ表示を切替えることができます。
発信機発報	ハッシンキ ON	発信機発報(A-C)入力があったことを示します。
警報回線(L 回線)入力/復旧	L*** ON/L*** OFF (** : 回線番号)	該当の警報回線 (L***-C) (感知器回線を警報回線で設定した場合)の ON/OFF があったことを示します。
警報回線(N 回線)入力/復旧	N* ON/N* OFF (* : 1~5)	該当の諸警報回線 (N*-NC) の ON/OFF があったことを示します。
消火栓始動入力/復旧	ショウカセン ON/ショウカセン OFF	消火栓始動入力 (HL1-HL2) の ON/OFF があったことを示します。
地区音響逐次鳴動	ベル チクジ	地区音響の自動解除時間 (TA) が経過したことを示します。地区音響一時停止中に発信機、または第 2 報の火災発報が入り一時停止が解除されたことを示します。
地区音響拡大鳴動	ベルカクタ`イ	地区音響一斉鳴動移行時間 (TC) が経過したことを示します。発信機、または第 2 報の火災発報が入り地区音響が一斉鳴動動作したことを示します。
非常放送地区音響停止入力/復旧	ホウソウ ON/ホウソウ OFF	非常放送地区音響停止入力 (EB+-EB-) の ON/OFF があったことを示します。
復旧スイッチ操作	フッキュウ	復旧スイッチを押して、復旧したことを示します。
地区音響一時停止スイッチ操作	1-ベル ON	ベル (地区音響) 一時停止スイッチが押されたことを示します。
地区音響一時停止解除スイッチ操作	1-ベル OFF	ベル (地区音響) 一時停止解除スイッチが押されたことを示します。
地区音響強制停止/停止解除操作	ベルテイシ ON/ベルテイシ OFF	地区音響強制停止 (ON) / 停止解除 (OFF) 操作をしたことを示します。
受信機音響強制停止/停止解除操作	オトテイシ ON/オトテイシ OFF	受信機音響強制停止 (ON) / 停止解除 (OFF) 操作をしたことを示します。
試験復旧スイッチ ON / OFF 操作	シケンフッキュウ ON/シケンフッキュウ OFF	試験復旧スイッチを ON / OFF したことを示します。
地区音響一斉鳴動スイッチ ON / OFF 操作	ベルイッセイメイト`ウ ON/ベルイッセイメイト`ウ OFF	地区音響一斉鳴動スイッチを ON / OFF したことを示します。
蓄積解除スイッチ ON / OFF 操作	チクセキカイシ`ヨ ON/チクセキカイシ`ヨ OFF	蓄積解除スイッチを ON / OFF したことを示します。
非常放送連動停止スイッチ ON / OFF 操作	ヒジ`ヨウホウソウテイシ ON/ヒジ`ヨウホウソウテイシ OFF	非常放送連動停止スイッチを ON / OFF したことを示します。
移信停止スイッチ ON / OFF 操作	イシンテイシ ON/イシンテイシ OFF	移信停止スイッチを ON / OFF したことを示します。
OP (オプション) スwitch ON / OFF 操作	OP* ON/OP* OFF (* : 1~5)	OP* スwitch を ON / OFF したことを示します。
消火栓連動停止スイッチ ON / OFF 操作	ショウカセンテイシ ON/ショウカセンテイシ OFF	消火栓連動停止スイッチを ON / OFF したことを示します。
履歴消去	リレキ クリア	履歴データの消去が行われたことを示します。
現在時刻設定	ジ`コクヘンコウ	年月日時刻が変更されたことを示します。
年替り記録	ネンカ`ワリ	年替りしたことを示します。
交流電源断発生/復旧	AC タ`ン/AC タ`ン フッキュウ	交流電源断(停電)が発生/復旧したことを示します。
電池未接続発生/復旧	BT ハス`レ/BT ハス`レ フッキュウ	電池はずれが発生/復旧したことを示します。
電池試験不良発生/復旧	BTシケン NG/BTシケン NG フッキュウ	定時試験で、電池電圧の異常が発生/復旧したことを示します。



次のページに続く

2 点検のしかた

イベント名称	液晶表示部	履歴内容
主回路電圧異常発生／復旧	デ`ンアツ Err/デ`ンアツ Err フックユウ	受信機内部の回路電圧の異常が発生／復旧したことを示します。
ヒューズ断線発生／復旧	ヒューズ` タ`ン/ヒューズ` タン フックユウ	ヒューズ断線が発生／復旧したことを示します。
外部トラブル発生／復旧	N* トラフ`ル/N* トラフ`ル フックユウ (* : 1~5)	該当回線の諸警報回線 (N*-NC : 諸警報回線をトラブル設定した場合) の入力が発生／復旧したことを示します。
メモリ異常発生／復旧	メモリ Err/メモリ Err フックユウ	内部メモリ (プログラム情報) の異常が発生／復旧したことを示します。
データ異常1発生／復旧	デ`ータ Err1/デ`ータ Err1 フックユウ	設定データの登録内容の異常が発生／復旧したことを示します。
データ異常2発生／復旧	デ`ータ Err2/デ`ータ Err2 フックユウ	使用回線の異常が発生／復旧したことを示します。
データ異常3発生／復旧	デ`ータ Err3/デ`ータ Err3 フックユウ	内部メモリ (ユニット情報) の異常が発生／復旧したことを示します。
ユニット異常1発生／復旧	UT*-##Err1/UT*-##Err1 フックユウ (* : ユニット種類) (## : ユニットアドレス)	受信機内部の該当ユニットの異常が発生／復旧したことを示します。
ユニット異常2発生／復旧	UT*-##Err2/UT*-##Err2 フックユウ (* : ユニット種類) (## : ユニットアドレス)	受信機内部の該当ユニットの異常が発生／復旧したことを示します。
非常放送配線断線発生／復旧	EB タ`ンセン/EB タ`ンセン フックユウ	非常放送配線 (EB+-EB-) の断線が発生／復旧したことを示します。
感知器配線断線発生／復旧	L*** タ`ンセン/L*** タ`ンセン フックユウ (* : 回線番号)	該当回線の感知器配線 (L***-C) の断線が発生／復旧したことを示します。
火災回路異常発生／復旧	カイロ*** Err/カイロ*** Err フックユウ (* : 回線番号)	定時試験で、該当回線の火災受信回路の異常が発生／復旧したことを示します。
履歴異常発生／復旧	リレキ Err/リレキ Err フックユウ	発報／操作履歴内容の異常が発生／復旧したことを示します。

■ユニット種類について

UT0-00Err1

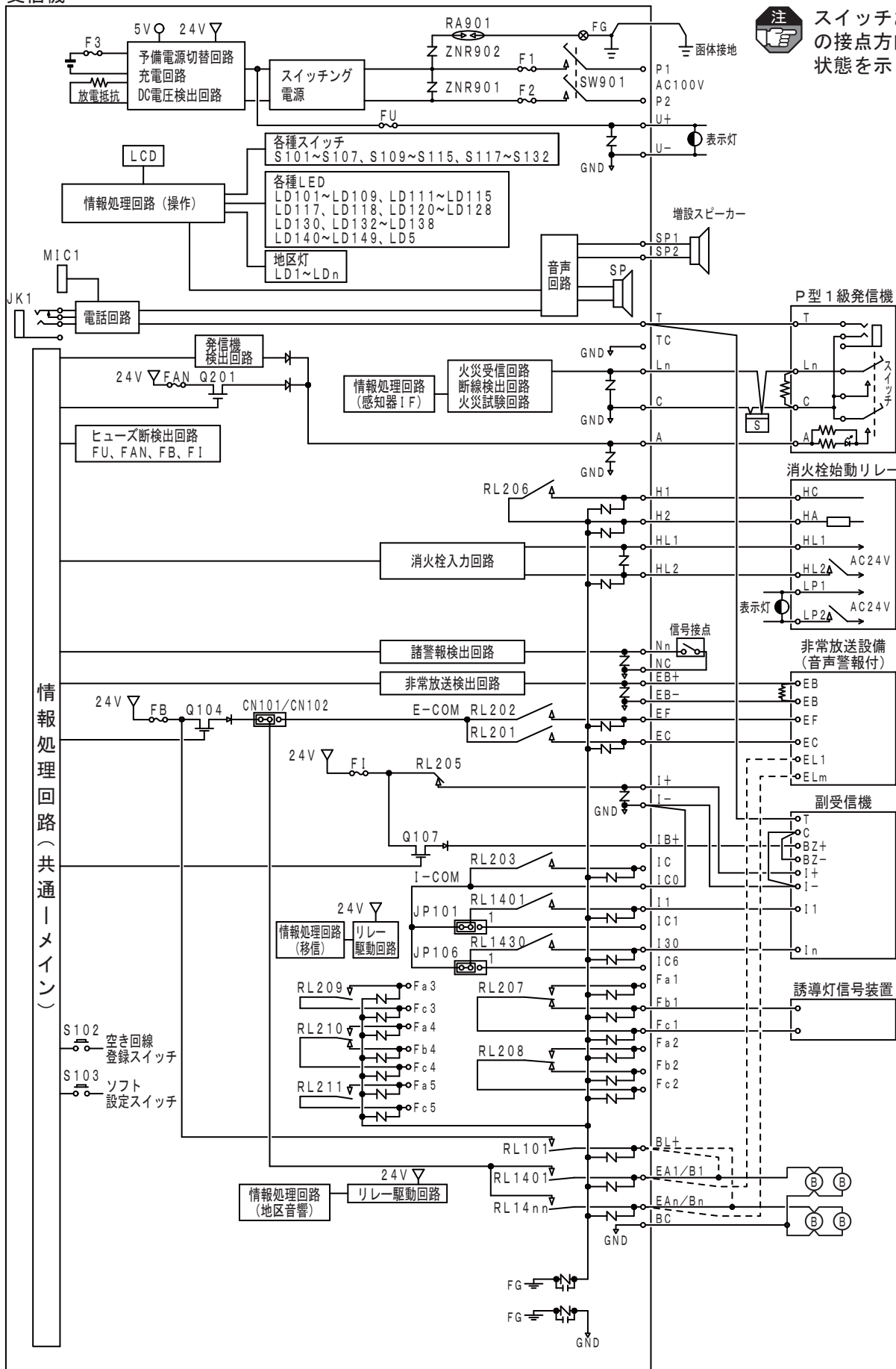
トラブル 001/001
UT0-00Err1

↑ ユニットのアドレス

↑ ユニット種類を次の番号で示します。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 0 : 共通ユニット(メイン) | 5 : 移信ユニット |
| 1 : 操作ユニット | 6 : 共通ユニット(サブ2)(アドレス0) |
| 2 : 地区表示ユニット | 地区音響出力ユニット(アドレス1~) |
| 3 : 共通ユニット(サブ1)(アドレス0) | |
| 感知器 IF ユニット(アドレス1~) | |

受信機



■ ご注意

- 蓄積型感知器の接続はできません。
- 非常放送設備(音声警報付)を接続する場合は、下記の内容にご注意ください。
 1. 非常放送 EA / 地区音響 B 端子には地区音響装置を接続せず、非常放送設備(音声警報付)を接続してください。
 2. 地区音響 / 非常放送切替コネクタを「非常放送」側に設定してください。(詳しくは、施工説明書を参照してください。)
- 必ず受信機の地区音響装置接続容量以内でご使用ください。
- 建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は下記内容にご注意ください。
 - ・ 受信機には、駆動方式が電磁式でない地区音響装置を接続してください。(電磁式の場合、受信機内部回路を壊す恐れがあります。)

■ 適用品番 NBP151AEA□□、NBP151BEA□□(□□は回線数)

記 号	記 号
SW901	交流電源スイッチ
F1, F2	交流一次側ヒューズ
F3	電池ヒューズ
FU	表示灯ヒューズ
FAN	発信機応答ヒューズ
FB	地区音響ヒューズ
FI	副受信機ヒューズ
SP	音声警報スピーカー
RL206	消火栓連動リレー
RL207~RL211	代表移信リレー
RL201	非常放送コモンリレー
RL202	非常放送火災確認移信リレー
RL1401~RL14nn	個別移信リレー(EA/B)
RL1401~RL1430	個別移信リレー(I)
RL101	地区音響代表リレー
RL203	移信コモンリレー
LD101~LD105, LD149	火災灯
LD109	発信機灯
LD1~LDn	地区灯
LD117	交流電源灯
LD118	警戒中灯
LD5	トラブル灯
LD123	音響強制停止灯
LD125	地区音響強制停止灯
LD127	非常放送中灯
LD120	消火栓灯
LD122	電話灯
LD111	音声ガイドスイッチ灯
LD112	ベル(地区音響)一時停止スイッチ灯
LD113	履歴確認スイッチ灯
LD114	トラブル確認スイッチ灯
LD115	試験スイッチ灯
LD121	スイッチ注意灯
LD133	通話中灯
LD134	地区音響一斉鳴動スイッチ灯
LD137	蓄積解除スイッチ・蓄積中灯
LD138	試験復旧スイッチ灯

記 号	記 号
LD140	OP1 スwitch灯
LD141	非常放送連動停止スイッチ灯
LD142	OP2 スwitch灯
LD143	消火栓連動停止スイッチ灯
LD144	OP3 スwitch灯
LD145	移信停止スイッチ灯
LD146	OP4 スwitch灯
LD147	点検スイッチ灯
LD148	OP5 スwitch灯
LD124, LD126, LD128, LD130, LD132	諸警報表示部灯
S129	受信機音響停止スイッチ
S130	ベル(地区音響)一時停止スイッチ
S131	ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ
S132	復旧スイッチ
S101	音声ガイドスイッチ
S102	通話スイッチ
S103	履歴確認スイッチ
S104	トラブル確認スイッチ
S113	実行スイッチ
S114	試験スイッチ
S115	戻るスイッチ
S109~S112	上下左右選択スイッチ
S105	地区音響一斉鳴動スイッチ
S106	A - I スwitch
S117	蓄積解除スイッチ / J - R スwitch
S107	電池試験スイッチ / S - Z スwitch
S118	試験復旧スイッチ / ー スwitch
S125	移信停止スイッチ / 1 スwitch
S121	非常放送連動停止スイッチ / 2 スwitch
S123	消火栓連動停止スイッチ / 3 スwitch
S119	4 スwitch
S127	点検スイッチ / 5 スwitch
S120	OP1 スwitch / 6 スwitch
S122	OP2 スwitch / 7 スwitch
S124	OP3 スwitch / 8 スwitch
S126	OP4 スwitch / 9 スwitch
S128	OP5 スwitch / 0 スwitch
LCD	液晶表示装置
BT	電池
RA901, ZNR901, ZNR902	サージアブソーバ
JP101~JP106	移信リレー(I)コモン切替ジャンパー

4 定格・仕様

壁掛型の場合

国家検定型式番号			受第 28～2 号									
回 線 数			10 回線	15 回線	20 回線	25 回線	30 回線	40 回線	50 回線	60 回線	70 回線	80 回線
M A P サ イ ズ			A3′ ヨコ			A3 ヨコ			A2 タテ			
常 用 電 源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	消費電力：警戒時最大	50VA						55VA		60VA	
		消費電力：警報時最大	80VA			95VA			100VA		105VA	
予 備 電 源	ニッケル・カドミウム蓄電池 充電方式：トリクル充電 受託評価適合品		DC 24V:1200mAh 充電電流：24mA						DC 24V:1650mAh 充電電流：33mA			DC 24V: 3500mAh 充電電流：70mA
※1 地 区 音 響 装 置	DC 24V(BC-BL+、B1…Bn) n：出力数 非常放送時 地区音響停止機能(EB+-EB-)		300mA		450mA		600mA		800mA			
※2 非 常 放 送 連 動	無電圧接点 (EC-EA1…EAn, EF) 接点容量 DC 30V 1A まで n：出力数		10 出力	15 出力	20 出力	25 出力						

表 示 灯	DC 24V 840mA (U+-U-)
感知器電圧・電流	DC 24V 短絡電流 27.5mA 外部配線抵抗 往復 50Ω 以下 (C-L1...Ln)
終 端 器 ※3	終端抵抗器：10kΩ (5.1kΩ、20kΩ も対応可能)
主 音 響 装 置	警報音 (断続音) + 音声メッセージ DC100mA (DC5V)：85dB/m 以上
副 受 信 機 ※4	電源 (I+-I-) } まとめて DC24V 220mA 音響出力 (IB+-I-) } 無電圧接点 30 出力 (IC-I1...I30) 接点容量 DC30V 1A まで
消 火 栓 始 動	無電圧接点 (H1-H2) 接点容量 DC30V 1A まで、始動確認灯 24V 5mA (HL1-HL2)
代 表 移 信 接 点 ※5	無電圧接点 5 系統 (Fc1-Fa1・Fb1) (Fc2-Fa2・Fb2) (Fc3-Fa3) (Fc4-Fa4・Fb4) (Fc5-Fa5) 接点容量 DC30V 1A まで
蓄 積 時 間	公称蓄積時間 60 秒 (煙感知器...60 秒、熱感知器...10 秒)
諸警報 電圧・電流	DC24V 短絡電流 5mA、外部配線抵抗 往復 50Ω 以下 (NC-N1...N5)
増 設 スピーカー ※6	光る増設スピーカ...3 台 (配線長：φ0.9...50m 以下 φ1.2...100m 以下) 増設スピーカ...1 台 (配線長：φ0.9...20m 以下)
使用周囲温度	0℃～+40℃
質 量	10 回線～20 回線 25kg、25 回線～40 回線 約 30kg、50 回線～80 回線 約 40kg
主 要 部 品 材 質	鋼板 (扉・函 t=1.2 又は 1.6) 5 分ツヤ有 メラミン塗装、鋼板 (取付金具 t=2.3) 防錆塗装

※1 EB+、EB-端子の非常放送側の接続端子に終端抵抗器 10kΩ を接続してください。

※2 地区音響区分鳴動端子 (B1...Bn) を非常放送階別移信端子 (EA1...EAn) に切り替えて使用できます。(詳しくは施工説明書を参照してください。)
EC-EF 接点が閉じるのは、発信機発報、スプリンクラー回線の発報、または第 2 報目の感知器発報の場合です。一斉鳴動移行時間 (TC) による動作では、EC-EF 接点は閉じません。

※3 20kΩ の終端抵抗器が接続されている場合は、終端器設定を「20k」に変更してください。(詳しくは設定説明書を参照してください。)

※4 40 回線以上の受信機で出力数を増やす場合は、別売の移信用リレーユニット 30 回線 (NBY432) を受信機に取り付けたいうで、受信機と副受信機間の接続を行ってください。

※5 代表移信接点は、設定により用途を変更することができます。出荷時はすべて火災代表移信になっています。(詳しくは設定説明書を参照してください。)

※6 増設スピーカは主音響、機器作動音響、トラブル音響が鳴動します。(一斉試験音響は鳴動しません。)
増設スピーカの鳴動は受信機の主音響鳴動と同じタイミングで警報内容を鳴動します。(鳴動停止も同じタイミングです。)
光る増設スピーカの場合は、鳴動と同時にフラッシュランプが点滅します。(点滅のみ、最大 2 分間で消灯します。)

自立型の場合

国家検定型式番号			受第 28～2 号						
回 線 数			40 回線	50 回線	60 回線	70 回線	80 回線	90 回線	100 回線
M A P サ イ ズ			A2 タテ						
常 用 電 源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	消費電力：警戒時最大	50VA	55VA		60VA		65VA	
		消費電力：警報時最大	95VA	100VA		105VA		110VA	
予 備 電 源	ニッケル・カドミウム蓄電池 充電方式：トリクル充電 受託評価適合品		DC 24V: 1200mAh 充電電流：24mA	DC 24V:1650mAh 充電電流：33mA			DC 24V:3500mAh 充電電流：70mA		
地 区 音 響 装 置 ※1			DC 24V 800mA(BC-BL+,B1…B25) 非常放送時 地区音響停止機能(EB+-EB-)						
非 常 放 送 連 動 ※2			無電圧接点(EG-EA1…EA25, EF)接点容量 DC 30V 1A まで 25 出力						
表 示 灯			DC 24V 840mA(U+-U-)						
感知器電圧・電流			DC 24V 短絡電流 27.5mA 外部配線抵抗 往復 50Ω 以下(C-L1…Ln)						
終 端 器 ※3			終端抵抗器：10kΩ (5.1kΩ、20kΩ も対応可能)						
主 音 響 装 置			警報音(断続音)+音声メッセージ DC100mA(DC5V)：85dB/m 以上						
副 受 信 機 ※4			電源(I+-I-) } まとめて DC24V 220mA 音響出力(1B+-I-) } 無電圧接点 30 出力(IC-I1…I30)接点容量 DC30V 1A まで						
消 火 栓 始 動			無電圧接点(H1-H2)接点容量 DC30V 1A まで、始動確認灯 24V 5mA(HL1-HL2)						
代 表 移 信 接 点 ※5			無電圧接点 5 系統 (Fc1-Fa1・Fb1) (Fc2-Fa2・Fb2) (Fc3-Fa3) (Fc4-Fa4・Fb4) (Fc5-Fa5) 接点容量 DC30V 1A まで						
蓄 積 時 間			公称蓄積時間 60 秒(煙感知器…60 秒、熱感知器…10 秒)						
諸警報 電圧・電流			DC24V 短絡電流 5mA、外部配線抵抗 往復 50Ω 以下(NC-N1…N5)						
増設スピーカー ※6			光る増設スピーカー…3 台(配線長：φ0.9…50m 以下 φ1.2…100m 以下) 増設スピーカー…1 台(配線長：φ0.9…20m 以下)						
使用周囲温度			0℃～+40℃						
質 量			約 150kg						
主 要 部 品 材 質			鋼板(扉 t=2.0 函 t=2.0)5 分ツヤ有 メラミン塗装						

感知器接続数

接続機器		終端器		
		終端抵抗器：10kΩ	終端抵抗器：5.1kΩ	終端抵抗器：20kΩ
感知器 (1 回線あたり)	A 熱感知器(電子式自己保持タイプ)	80 コ	80 コ	20 コ
	B 煙感知器(1 種、2 種、3 種)	30 コ	30 コ	7 コ
	D 光電式分離型感知器	1 セット	1 セット	接続不可
	E 差動式分布型感知器(熱電対式)	5 コ	5 コ	1 コ
	F 炎感知器	4 コ	4 コ	1 コ
	上記感知器が混在する場合は、上記の条件を満たした上で、右記方程式により接続個数を決めてください。	$A + \frac{8}{3}B + 20F + 16E \leq 80$		$A + \frac{8}{3}B + 20F + 16E \leq 20$
注 ● 光電式分離型と他の感知器との混在接続はできません。 ● 一般熱感知器(接点式)・差動分布型感知器(空気管式)は、1 回線あたりの接続数に制限はありません。 ● 終端抵抗 5.1kΩ を使用する場合は、システムトータルでの感知器個数は、下記の方程式により接続数を求めてください。		$A + \frac{8}{3}B + 20F + 16E + 80 \leq \frac{80}{3} \times \text{回線数}$		

連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入しておくとは便利でず。

点 検 契 約 店	TEL
施 工 店	TEL
設 備 竣 工	年 月 日

日本ドライケミカル株式会社